

# 第158期 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日



日本紙パルプ商事株式会社



代表取締役社長

渡辺 昭彦

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第158期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業概要をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

## 当期の連結業績

売上高	5,347億8千2百万円 (前期比0.1%減)
営業利益	109億2千4百万円 (前期比1.1%増)
経常利益	98億円 (前期比8.9%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	50億5千3百万円 (前期比30.5%増)

## 1 | 当期の業績

当期における我が国経済は、海外経済の減速などを背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善などによって設備投資と個人消費の増加基調が続き、全体としては緩やかな回復が続きました。一方、世界経済におきましては、米中貿易摩擦の影響が、米中のみならずユーロ圏にも波及し、主要国・地域の経済の減速を招く結果となりました。また、年明け以降、新型コロナウイルス感染拡大が、世界的な規模での経済活動の停滞をもたらし、予断を許さない状況が続いております。

紙パルプ業界におきましては、板紙は、加工食品・飲料用など生活必需品や、伸長著しいネット通販向けの梱包用段ボール原紙の出荷が堅調で前期並みとなったものの、紙は、人口減少、少子化、出版物や広告用途などにおけるデジタル化の進展などの構造的要因から、需要が減少し、当期における紙・板紙の内需は前期を下回る結果となりました。

このような市場環境のもと、当社グループは、多角化してきた各事業の充実と既存事業との相乗効果の創出に取り組んでまいりました。

これらの結果、当社グループの当期の業績は、売上高5,347億8千2百万円（前期比0.1%減）、営業利益109億2千4百万円（同1.1%増）、経常利益98億円（同8.9%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期は連結子会社株式会社野田バイオパワーJ Pにおける廃棄物処理費用引当金繰入額24億3千4百万円を特別損失に計上したことに対し、当期は同引当金繰入額5億2千4百万円を特別損失に計上した一方で同引当金戻入益9億5千8百万円を特別利益に計上したこと等により、前期比30.5%増の50億5千3百万円となりました。

## 2 | 今後の見通し

現在、世界的な新型コロナウイルス感染拡大が国内外の事業環境に大きく影響を及ぼしております。

このような状況下、当社グループは、取引先及び従業員の安全確保を最優先し、感染拡大防止のための対策を取りながら生産・営業活動に努めておりますが、現時点において業績予想の合理的な算定が困難であることから、今期（2021年3月期）の業績予想は未定とさせていただきます、今後開示が可能となりました時点で、速やかに公表いたします。

## 3 | 新中期経営計画

当社グループでは、当期をもって3ヶ年の『中期経営計画2019 “Paper, and beyond”』が終了するため、新たな中期経営計画を策定し公表する準備を進めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、経営環境や事業環境が大きく変わる可能性があるため、計画の再検討が必要と判断いたしました。

新たな中期経営計画は、今後の経営環境や事業環境の変化、さらにはニューノーマルを見据えた戦略や方針を織り込み、2021年4月からのスタートを目指して策定し、公表させていただきます予定です。

当社グループは、これからも、社会的課題の解決に取り組むとともに、紙の限らない可能性を追求し、新たな価値の創出に挑戦し続けます。また、社会と地球環境のよりよい未来を拓くことを使命とし、すべてのステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

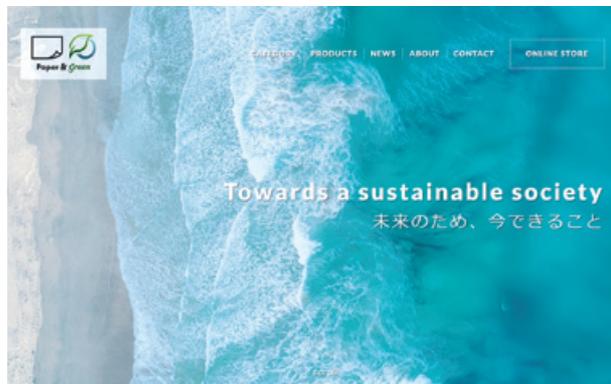
### 環境配慮型製品に特化したECサイト 「Paper & Green」をオープン

当社は、2019年9月4日、当社が運営するECサイト「Paper & Goods」の姉妹版として、環境に配慮した製品を専門に取り扱うECサイト「Paper & Green」をオープンいたしました。

昨今、地球温暖化に起因するとされる異常気象や海洋プラスチックごみに代表される廃棄物の増加、人口増加に伴う資源の枯渇等、世界では、さまざまな問題が深刻化しています。当社はこのような背景を受け、環境配慮型製品の紹介・提供が、社会と地球環境のよりよい未来への構築につながると考え、「Paper & Green」を開設いたしました。

当サイトは、オンラインストアでの製品販売や、お客様のニーズに合わせたオーダーメイド製品の受注の機能に加え、商品選択の参考となる環境視点の詳しい製品開発ページを充実させており、開設後は、環境配慮型製品への関心をもつ多くの企業・消費者からお問合せをいただいております。

「Paper & Green」は、今後も取り扱い製品や情報を拡充し、持続可能な循環型の社会に貢献してまいります。



Paper & Green <https://www.paperandgreen.com/>

### 「二子玉川 本屋博」に協賛・出展

当社は、2020年1月31日および2月1日の2日間、二子玉川ライズ ガレリアで開催された「二子玉川 本屋博」に協賛・出展いたしました。同イベントは、40の個性あふれる本屋が一堂に会し、本屋の魅力と可能性を発信するイベントです。2日間で約3万人を超える来場者を迎え、書籍・雑誌・雑貨を合わせた販売点数は1万点以上となり、会場は活況を呈しました。

当社出展ブースでは、紙漉き体験とオリジナルブックカバーをつくるワークショップを開催し、お子様から大人まで全ての方を対象に、身近な素材である紙の魅力をお伝えしました。多くの来場者とのコミュニケーションを通じて、「紙」への愛情やその可能性を受け取った2日間となりました。

#### 【「二子玉川 本屋博」概要】

日時 2020年1月31日（金） 11:00-20:00  
2月 1日（土） 11:00-19:00

場所 二子玉川ライズ ガレリア  
(東急電鉄 田園都市線・大井町線 二子玉川駅直結)

主催 本屋博実行委員会  
協賛 日本紙パルプ商事株式会社、ユアニチャー株式会社  
協力 二子玉川ライズ・ショッピングセンター、  
二子玉川 蔦屋家電



当社出展ブースの様子

# 事業区分別の経営成績

## ○ 事業区分別売上高構成比



(注) 比率は小数第2位を四捨五入して表示しております。

## ■ 製紙及び加工

売上高：261億8千5百万円  
経常利益：69億5千9百万円

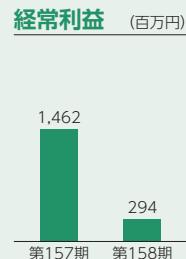
売上高は再生家庭紙事業の販売が好調に推移したこと、段ボール原紙や再生家庭紙製品の販売価格の維持により、前期比7.1%増となりました。経常利益は、売上高が増加したことに加え、原料古紙価格が当期において低位安定したことにより、同61.0%増となりました。



## ■ 資源及び環境

売上高：292億3千万円  
経常利益：2億9千4百万円

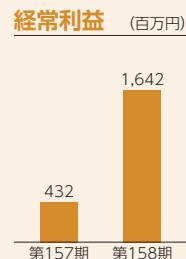
中国における廃棄物輸入規制の継続実施により古紙の需給が緩んだことから国際市況が大幅に下落し、売上高は前期比21.3%減、経常利益は同79.9%減となりました。



## ■ 不動産賃貸

売上高：52億2千6百万円  
経常利益：16億4千2百万円

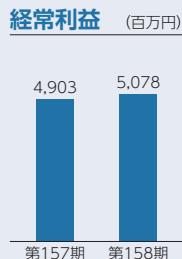
売上高は2018年7月に稼働したOVOL日本橋ビルと2019年4月に稼働したOVOL京都駅前ビルからの賃貸料収入が増加し、また既存テナントビルの高稼働も継続しており、前期比48.9%増となりました。経常利益は、OVOL日本橋ビル、OVOL京都駅前ビルの減価償却費や不動産管理費等の費用が増加したものの売上高の大幅な増加により同280.2%増となりました。



## ■ 国内卸売

売上高：2,893億7千8百万円  
経常利益：50億7千8百万円

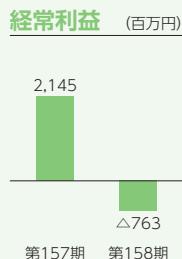
紙・板紙は、価格修正以降販売価格を維持しているものの、電子化などによる印刷・情報用紙の構造的な需要減少に加え、当期前半の自然災害や天候不順などの影響を受けた梱包用段ボールの荷動き低迷による段ボール原紙の販売数量減少により、売上高は前期比0.5%減となりました。経常利益は、販売価格の維持と子会社での貸倒引当金繰入額の減少などにより同3.6%増となりました。



## ■ 海外卸売

売上高：1,847億6千3百万円  
経常利益：△7億6千3百万円

米中貿易摩擦に端を発した世界的な紙・板紙の需要減少の影響があったものの、M&Aによる新規連結子会社の業績反映により、売上高は前期比2.8%増となりました。利益面では、市況品種の価格下落による粗利の大幅な落ち込みや、中国、香港、米国子会社における在庫評価損、貸倒引当金の計上に加え、M&Aによるのれん償却費及び株式取得費用の発生や為替差損の計上により経常損失となりました。



## 会社の概要

(2020年3月31日現在)

創業	業	1845年(弘化2年)
設立	立	1916年(大正5年)
資本金	金	16,648,923,525円
従業員数	数	4,298名(連結) 709名(単体)

**主要な事業内容** 紙、板紙、パルプ、古紙、紙二次加工品、その他関連商品の売買、不動産の賃貸、発電、電気の売買

### 主要拠点

#### 【当社単体】

本社：東京都中央区

国内支社・営業部：大阪、京都、名古屋、福岡、仙台、札幌

#### 【当社グループ】

連結子会社：国内23社、海外53社

持分法適用会社：国内6社、海外1社

### 役員 (2020年6月29日現在)

代表取締役社長	渡辺 昭彦
代表取締役	勝田 千尋
取締役	宮崎 友幸
取締役	櫻井 和彦
取締役	増田 格 (非常勤・社外取締役)
取締役	竹内 純子 (非常勤・社外取締役)
監査役	上坂 理恵 (常勤)
監査役	喜多村 勝徳 (非常勤・社外監査役)
監査役	樋口 尚文 (非常勤・社外監査役)



#### ■株主優待制度について

2020年3月末現在の当社株主名簿に記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象に、ワンタッチコアレス®Nを贈呈させていただきます。

## 株式の概要

(2020年3月31日現在)

### 株式の状況

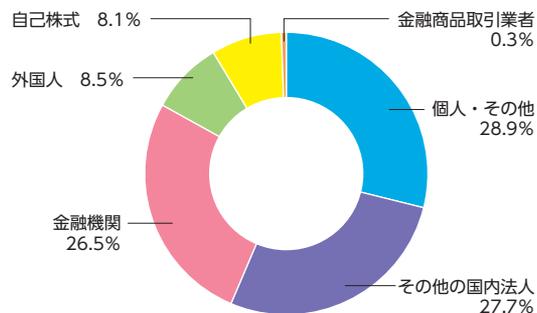
発行可能株式総数	29,560,300株
発行済株式総数	15,021,551株
株主数	11,846名

### 大株主

株主名	持株数	持株比率
王子ホールディングス株式会社	1,638 <sup>千株</sup>	11.8%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 日本製紙口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,402	10.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	554	4.0
日本紙パルプ商事持株会	463	3.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	433	3.1
北越コーポレーション株式会社	310	2.2
J P 従業員持株会	293	2.1
中越パルプ工業株式会社	258	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	226	1.6
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	209	1.5

- (注) 1. 当社は自己株式1,224千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
3. 単位未満は切り捨てて表示しております。

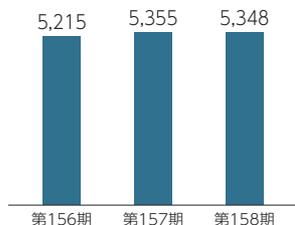
### 所有者別持株比率



(注) 比率は小数第2位を四捨五入して表示しております。

売上高

(億円)



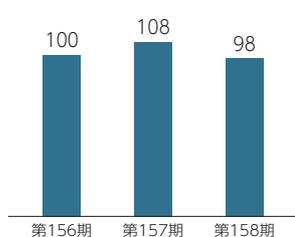
営業利益

(億円)



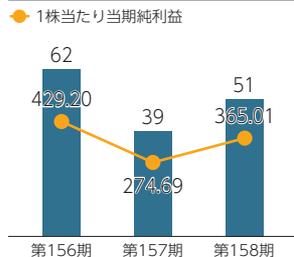
経常利益

(億円)



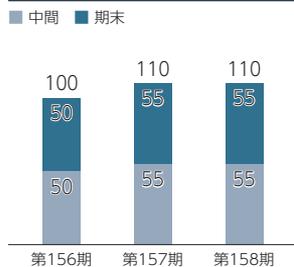
親会社株主に属する当期純利益・1株当たり当期純利益

(億円) (円)



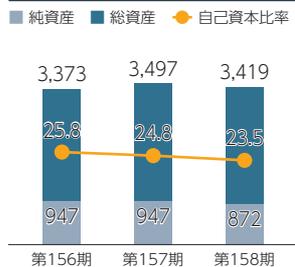
1株当たり配当金

(円)



総資産・純資産・自己資本比率

(億円) (%)



(注) 1. 2017年10月1日付で当社株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。  
 第156期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金を算定しております。  
 2. 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を前期(第157期)の期首から適用しており、第156期の総資産の金額については、当該会計基準の改正を遡って適用した場合の金額となっております。

財務諸表の詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。

[www.kamipa.co.jp/](http://www.kamipa.co.jp/)

投資家情報

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日  
 中間配当：毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 〒168-0063  
 (郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 (電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元株式数 100株

公告掲載方法 電子公告 [www.kamipa.co.jp/](http://www.kamipa.co.jp/)  
 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場取引所 東京証券取引所

証券コード 8032

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

- 証券会社でお取引をされている株主様  
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
- 特別口座に記録されている株主様  
 証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



日本紙パルプ商事株式会社

〒104-8656 東京都中央区勝どき三丁目12番1号 フォアフロントタワー  
 TEL. 03-3534-8522 (代表) [www.kamipa.co.jp/](http://www.kamipa.co.jp/)

